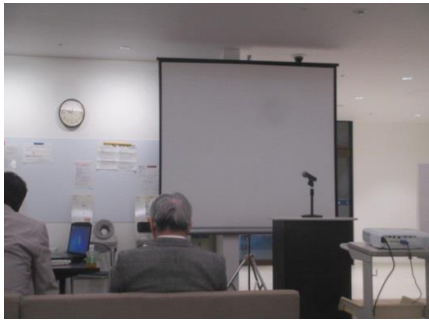


## 2017年1月15日 あげぼの友の会40周年記念講演会



2017年1月15日 あげぼの病院2Fロビーにおいて、あげぼの友の会40周年記念講演会が開催されました。

会場設営には病院スタッフの皆様が日曜日の早朝から準備を進められて、普段見慣れている透析ロビー一部分が、立派な講演会場に変化していたのには、エレベータを降りた時に驚かされたのではないのでしょうか。



AM10:00 予定通りに開会。  
講演会には多くの方々に参加していただきました。

これから約2時間の予定で講演会が進められる予定です。

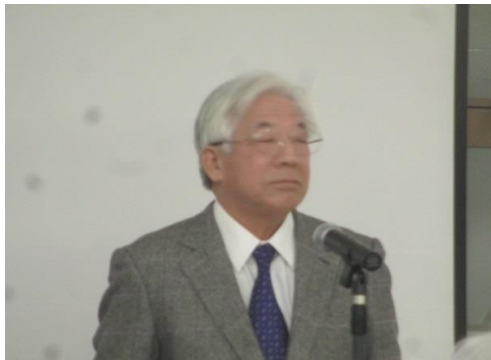


あげぼの友の会  
会長 加々美俊六様 挨拶



あげぼの友の会  
相談役 木下久吉様 挨拶

現在、あげぼの友の会の活動の中心で御活躍されている御二人より、御挨拶の中にも興味深いお話をいただきました。



講演 1  
あげぼの病院理事長  
南郷俊明 先生

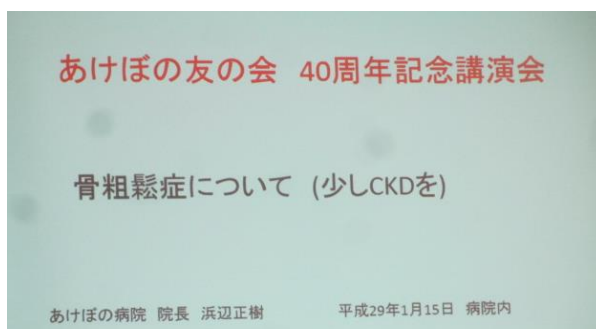
『四十周年を祝して（共に生きる）』

40年前、あげぼのクリニック設立から透析医療の普及に御尽力された歴史、透析医療に対する思いを真摯に語られました。

現在の患者会、あげぼの友の会会員と未会員の比率が逆転している現状に際し、公平性を保ち、全患者に情報を浸透する上でも、病院主体の患者会への移行について構想を発表されました。基本理念は病院と患者の固い信頼関係を構築し、「共に生きる」という考え方から、あげぼの病院として目指す透析医療の将来像を熱く語っていただきました。病院のトップが患者に直接このような理念を語るという例は稀有な事であり、我々患者は、すばらしい透析環境を提供されているばかりでなく、ここまで守っていただいているのだと改めて感じ入ったものです。

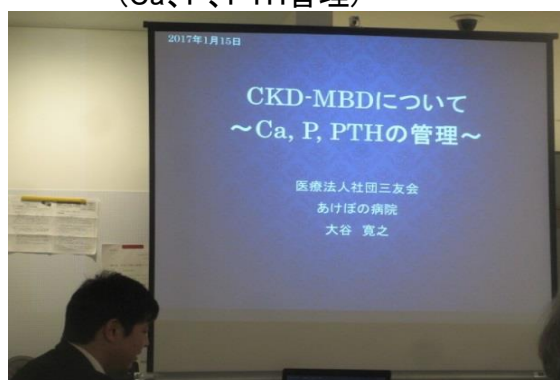
講演 2  
あけぼの病院 院長  
浜辺正樹 先生

講演タイトル 『慢性腎臓病と骨粗しょう症』



講演 3  
あけぼの病院 副院長  
大谷寛之 先生

講演タイトル 『CKD、MBDについて』  
(Ca、P、PTH管理)



普段から患者の健康管理に注意を払われている両先生からは、我々が学習し、より良い日常生活を送れるように、身近なテーマで講演していただきました。スライドで図表やイラストをふんだんに使用されていたので、わかりやすくなっており、自分達でも積極的に、できる事から取り組んでみようという気持ちにさせてくれたと思われます。この場に参加できなかった患者の皆さんも、今後、このような機会がある時には、ぜひとも参加してみてください。きっと、自分を見つめ直す良い機会になると思います。



あけぼの友の会  
副会長 豊 義秀様 閉会の辞

PM0:00までにすべての講演は終了し、豊副会長の閉会の辞で講演会の結びとなりました。

普段の病院勤務で御忙しいのにもかかわらず、貴重な日曜日に、このような有意義な講演会を企画・実施してくださった南郷理事長、浜辺院長先生、大谷副院長先生を始め、大勢の病院スタッフの方々に改めて感謝いたします。普段からの献身的なケアに加えて、このような形で患者をサポートしている透析病院は「あけぼの病院」だけではないでしょうか。このような人々の善意に守られている患者の一人として、改めて「あけぼの病院」に対し、揺るがない信頼感と感謝の気持ちを抱きました。まだ、このような会に参加した事のない方も、次の機会には参加してみたいかがでしょうか。